

第 5 回 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度検討会議

議事要旨（案）

1. 日 時 2020 年 2 月 25 日(火) 17:00～19:00

2. 場 所 中央合同庁舎 8 号館 8 階特別大会議室

3. 出席者※敬称略

座長	永田 恭介	筑波大学長、一般社団法人国立大学協会長
副座長	安宅 和人	ヤフー株式会社 CSO、慶應義塾大学環境情報学部教授
	安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会顧問、AI 戦略実行会議座長
	五十嵐 悠紀	明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科専任准教授
	岡本 和夫	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構顧問
	草野 隆史	株式会社ブレインパッド代表取締役社長、一般社団法人データサイエ ンティスト協会代表理事、一般社団法人日本ディープラーニング協会 理事
	小谷 元子	総合科学技術・イノベーション会議議員、東北大学高等研究機構長、 東北大学材料科学高等研究所教授 兼 大学院理学研究科数学専攻教授
	神成 淳司	慶應義塾大学環境情報学部教授、AI 戦略実行会議構成員
	杉山 将	理化学研究所 革新知能統合研究センター長、東京大学大学院新領域 創成科学研究科教授
	椿 広計	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所長
	村田 治	関西学院大学長
	山中 竹春	横浜市立大学医学部臨床統計学主任教授・データサイエンス推進セン ター長
	ルゾンカ 典子	ソニー銀行株式会社執行役員

オブザーバー

小池 雅行 独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成センター企画部長

4. 議題

- (1) 第4回検討会議での主なご意見等について
- (2) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）について
- (3) 今後の予定

5. 資料

- 資料1 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定基準(原案)
- 資料2 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の創設について(骨子)
- 参考資料1 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度検討会議(第4回)
議事要旨(案)

6. 議事要旨

- (1) 第4回検討会議の主なご意見等について

冒頭、永田座長より挨拶の後、次回3月17日の第6回検討会議は公開で開催する予定であると報告された。事務局より第4回検討会議でのご意見等について参考資料1に基づき説明があった。

- (2) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)について

事務局より、第4回検討会議でのご意見等をふまえ修正した数理・データサイエンス・AIの優れた教育プログラムについての基本的考え方、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育に係る認定制度の設計に関する論点等を提示し、認定の考え方や認定対象、認定制度運用等について議論が行われた。

(以下は、その中での意見の例)

- リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラムをできるだけ多くの学生が履修できるよう、学部・学科を問わず全学的に開講することともに、大学等には履修者数や履修率の向上にむけた具体的な計画の提示を求めるべきではないか。
- 質保証の観点から、自己点検のしくみや体制の整備を申請の段階で求めるべきではないか。
- 本認定に価値があると社会から評価されるには、認定を受けた教育プログラムの有効性が社会に還元されていくという実感が必要ではないか。

- (3) 今後の予定

事務局より今後の予定について説明があった。

以上